

する基準を定める条例の一部を改正する条例

〔概要〕

法改正により、主任介護支援専門員更新研修が創設されたことに伴い、地域包括支援センターに配置している主任介護支援専門員についても、5年を超えない期間ごとに更新研修の修了を義務付けるもの

〔審査内容〕

Q 更新研修の内容について尋ねる。

A 更新研修では、介護保険制度の動向や、認知症に関する事例など、合計46時間の講義や演習を受ける必要がある。

## 議決

『何度も設計に変更が生じないよう強く要望』

工事施工に関する基本協定の變更など、4件の議決議案を可決しました。

委員会での主な審査内容は、次のとおりです。

経済建設委員会

\* 工事施工に関する基本協定の變更について

〔概要〕

平成28年6月定例会において、

▼注1…レール幅の広い新幹線と狭い在来線を直通できる電車

国道34号高縄手橋架替工事の仮橋の工事施工に関し、現地の土質が想定と異なっていたことから、設計を見直した結果、迂回路の工事費が増額になったことに伴い協定金額を変更する議案を可決したが、その後、同工事の本線橋台の工事施工に関しても同様の理由で工事費の増額が生じたため、協定金額を再度変更するもの

〔審査内容〕

仮橋と本線橋台については、工事内容に違いはあっても、近接した場所であるため、同じような土質であると考えられる。前回変更した時点で、今回のことも想定できたはずなので、同様の理由で何度も設計変更が生じないようにしてほしいと強く要望しました。

## 陳情

1件の陳情書が提出され、所管の常任委員会で検討し協議を行いました。

● 「地球を守る社会体制創り」の為の陳情・地球社会建設決議陳情



(国道34号高縄手橋 (松原交差点付近) は、現在、本線が工事のため、一時的に迂回路仮橋での通行になっています)

## 意見書

『九州新幹線西九州ルートの整備促進に関する意見書』

九州新幹線西九州ルートへの導<sup>洋</sup>入が予定されているフリーゲージトレイン(FGT)の開発に遅れが生じている状況の中、その実現性について、市民の戸惑いや懸念が広がり、営業主体である鉄道事業者からも、最終的な西九州ルートのあり方を求める声があがってきている。

よって、山陽新幹線への直接乗り入れを確実に実現するとともに、将来的には全線フル規格化を視野に入れた検討を進めるよう、国に対し、意見書を提出しました。

『指定給水装置工事事業者制度に更新制の導入を求める意見書』

現行の指定給水装置工事事業者制度は、新規の指定のみが規定されており、廃止、休止等の状況が把握されないことから、全国的に、事業者の所在不明、違反行為などのトラブルが多発している。

水道利用者の安心・安全のためには、不適格事業者を排除し、継続的なメンテナンスを確保する必要があるため、現行制度に更新制を導入するよう、国に対し、意見書を提出しました。